

川崎市管工事業協同組合青年部会 不法投棄撲滅クリーンキャンペーン

担当役員 川又 健太郎

実施日 平成19年11月17日（土）

参加者 35名（川崎区長、川崎市職員5名、青年部会員9名、
他団体青年部会員20名）



参加者の集合写真 川崎建設センターにて



昨年に引き続き、川崎市建設業に関わる異業種青年部（川崎建設二世4団体／建設、電気、管工事、造園）として川崎市に声を掛け、行政サイドからの要望により、去年と同じ場所において清掃活動を行うこととなりました。

昨年同様、清掃場所に近い川崎市建設局の施設（川崎建設センター）に集合し、出発式を行い、その後、川崎市側から要望を受けた場所（川崎市東扇島）に移動し、複数班に分かれ清掃活動を実施致しました。

現場に到着して、まず驚いたのは、昨年よりはるかにゴミの量が多くなっているということです。

実際その場所は、一般の人があまり立ち入る事の出来ない場所にあるにもかかわらず、これほどゴミが多いという事は、車からの投

げ捨て等、その付近を通行する車両から投げ捨てられるゴミと推測でき、人としてのモラルを疑うと共に、水資源に対する関心の薄さを改めて実感した次第です。

そんな中、年が明け、先日（1月23日）、川崎日航ホテルで開催された親組合の賀詞交歓会において、川崎市長よりこのクリーンキャンペーン及び日頃の活動について、冒頭の挨拶にてお褒めの言葉を大勢の人が集う中、お話いただきまして、我々の励みになったこともお伝えしたいと思います。

来年度はどんな活動になるかは未定ですが、建設業界として、これからも不法投棄を撲滅する活動を様々な形で行っていきたく思っております。

